

各関係機関団体の長
殿
各病虫害防除員

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

技術情報第11号

トビイロウンカによる水稻坪枯れ、ハスモンヨトウによる大豆白変葉の発生について

県内の一部地域で、トビイロウンカによる坪枯れが中晩生品種で発生しています。今後、晩生品種を中心に発生の拡大が懸念されますので、ほ場の見回りに努め、トビイロウンカが多発(株当たり10頭以上)、あるいは坪枯れの兆候を確認した場合は緊急に防除する必要があります。

また、ハスモンヨトウによる大豆白変葉も一部地域で発生が激増しています。水稻の場合と同様、ほ場での発生状況の把握に努め、白変葉を確認した場合は速やかに防除しましょう。

- 1 作物名 水稻、大豆
- 2 病虫害名 トビイロウンカ、ハスモンヨトウ
- 3 発生地域 県内全域
- 4 防除上注意すべき事項

- (1) 水稻では県南地域の中生品種と、県北東部の一部地域の晩生品種で坪枯れが発生している。トビイロウンカの発生量は地域及びほ場間での差が大きいため、ほ場での発生状況を確認するとともに、農薬散布を行う場合は特に収穫前規制に留意の上、緊急に防除を行う。
- (2) 大豆のハスモンヨトウは、9月5半旬の25株払い落とし虫数では平年より少ない状況であったが、10月2半旬調査では一部ほ場で白変葉が激増し、幼虫密度が高い状況であった。
- (3) 福岡管区气象台が9月29日に発表した1か月予報では、気温は高く、ハスモンヨトウの発生に好適な条件である。
- (4) 防除に当たっては、農薬使用基準(使用時期、使用回数等)を遵守する。



トビイロウンカによる水稻の坪枯れ



ハスモンヨトウによる大豆白変葉